

第178回 冷戦のはじまい②

1 ドイツの分裂

- 東西対立が表面化するなかで、1948年6月、ドイツを占領していた米・英・仏の西側3国が、西側占領地区で（）を行った。
→これに対してソ連は（）を行った。
→西側3国は孤立した西ベルリンに空輸を行い、これに対抗した。

- 空輸に加えて、1949年、アメリカを中心に（）
という軍事同盟が結成されたこともあり、ソ連は封鎖をといた。
→しかし東西ドイツの緊張は高まり、分裂が決定的となった。



ベルリン封鎖

西ベルリンは、ソ連管轄地区の中で、孤島のようになっていた。写真が少しわかりづらいが、鉄道の線路に丸太を載せて、通れなくしている。



ベルリン空輸



空輸された牛乳

西側は、1日のべ1000機以上の輸送機を飛ばし、西ベルリン市民へ物資を送った。封鎖が解かれるまでの9ヶ月で、総飛行回数は27万回を超える大作戦だった。

☆（）（1949～1990年統一～2021年現在）

都…（）

◆（）（キリスト教民主同盟）（在任1949～1963年）



・1949年5月、西側占領地区に、西ドイツが建国された。

西ドイツの国旗
現在のドイツ国旗と全く同じデザインで、上から黒・赤・金色。

・1954年、（）で主権を回復した。

→1955年、再軍備を行い、（）を果たした。

→ソ連はこの動きに対抗し、1955年、（）を結成した。

☆（）（1949～1990年統一）

都…ベルリン

・1949年10月、ソ連占領地区に、社会主義統一党（SED）を中心に東ドイツが建国された。



東ドイツの国旗
中央には、労働者を意味するハンマーとコンパスが描かれている。

☆オーストリア（1955～2021年現在）

都…ウィーン

・4カ国共同管理を受けていたオーストリアは、1955年、オーストリア国家条約により永世中立国として独立を回復した。



西ドイツのアデナウアー

フランスとの関係も修復し、奇跡の経済復興を成し遂げた。87歳まで首相を務め、91歳まで生きた。最後の言葉は「泣くことなど何もない！」であった。



NATO

北大西洋条約にサインするアメリカのトルーマン大統領。
NATOはアメリカを中心とする軍事同盟であり、現在も活動中である。



ワルシャワ条約機構の記念切手

ソ連で発行されたワルシャワ条約機構発足20周年の記念切手。ソ連崩壊直前の1991年に解散した。

2 大戦後のアメリカ

- ・1949年、ソ連が原爆の開発に成功し、1950年に始まる（）が長期化するなかで、アメリカでは共産主義に対するヒステリックな反発が起こった。

- ・1947年、ワグナー法にかわって（）が制定され、労働者の権利や労働組合の運動が大幅に制限された。
- ・またソ連との対立を背景に、アメリカ国内ではマッカーシー上院議員を中心として、共産主義思想を追放する（）の運動が行われた。
- ・1947年に国家安全保障法が制定されると、1947年に中央情報局（CIA）、1949年に国防総省が設立された。



金正日の父、金正恩の祖父である。北朝鮮の建国者で、1950年に朝鮮戦争を引き起こした。1994年に死去するまで独裁者として君臨した。朝鮮戦争については第179回で。

北朝鮮の金日成



トルーマン

朝鮮戦争介入の宣言にサインするトルーマン大統領。ソ連が安保理を欠席していたため、「国連軍」を派遣することに成功した。



マッカーシー上院議員

俳優、スポーツ選手など多くの著名人が、魔女狩り的に共産主義者を疑われた。一種ヒステリックな運動である。チャップリンはこれでアメリカを去った。

3 各地の反共軍事同盟

- ・朝鮮戦争以降のアメリカは、共産主義勢力に対抗するため、フィリピン（1951年）、韓国（1953年）、中華民国（台湾）（1954年）と相互防衛条約を締結していった。
- ・オーストラリアやニュージーランドとは（）を結んだ（1951年）。



アイゼンハワー
第34代大統領。
ノルマンディー上陸作戦の総司令官。
大統領退任に際して、「軍産複合体」について警告したことは有名。

- ◆（）（共和党）（在任1953～1961年）
 - ・「」をきっかけ、世界各地で共産主義勢力に対する軍事同盟を結成させた。
 - ・東南アジアでは1954年に（）を結成した。
 - ・西アジアでは1955年に（）を結成した。
→1959年、イラク革命のため（）に再編成された。
 - ・1954年、ブラウン判決により、公立学校における人種隔離を違憲とした。



ダレス国務長官
「ドミノ理論」を唱え、積極的な反共産主義外交を主導した。

